

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第59号
文責 校長 西村羊治

令和6年12月19日

西合志図書館へ

本校の子ども達の多くは、「本は好き」と答えます。図書司書の左座先生が、図書室の環境や本の配置、いろいろな図書に関する取組のお陰です。また、「どんちゃん号」が来たときも、たくさんの本を借りる子が多くいます。私は、子どもの頃、読書は嫌いでした。とてももったいないことをしていたなと思います。(しかし、自然の中で泥だらけになりながら遊んでいたことは、よい体験です。)

西合志図書館の司書の先生の説明



雑誌コーナーも

読書は心の栄養と言います。まさしくそうだと思います。読書が少ない人より、多い人の方が、創造豊かで知識も豊富になるのは間違いないと思います。本を読むことで知ること学ぶことはたくさんあります。(内容にもよりますが・・・)

12月17日(火)に本校の2年生のみんなが、西合志図書館に行きました。とても広くたくさんの蔵書がありました。2年生のみんなは、事前に考えていた質問を積極的に司書の先生方へ質問をしながら尋ねていました。学ぶ意欲がありすばらしかったです。司書の先生方も質問に対してとても丁寧に答えてくださっておられました。

次は見学です。「うわ～ひろい」「本がいっぱい！」子ども達が言います。本当に広くて本がたくさんでした。興味津々の子ども達は、司書の先生の説明をしっかり聞き体全体で学んでいました。子ども達にとって貴重な体験となりました。西合志図書館の先生方、江住先生、ありがとうございました。



奥の倉庫にはたくさんの書物が

菊池支援学校との交流

本校の4年生が、19日(木)に菊池支援学校に行ってきました。私は34年前、人吉の多良木にある球磨養護学校(現在は支援学校)に1年間勤めさせていただきました。中学1年生8人を2人の担任で担当しました。脳性麻痺・水頭症・ダウン症・肢体不自由・てんかん・自閉症・脳萎縮小などたくさんの課題を背負おわされている生徒達でした。でも、明るく素直で、そうじをがんばり、やさしい子ばかりでした。私は特別支援の免許を持っていません。大学を出てすぐ支援学校に勤務しました。生徒の状態や生徒との距離感や関わり方が、まったく分かりません。生徒の性格や実態が分からないからです。しかし、日を増す毎に生徒8人のことがい



自己紹介の後、ダンスを披露



ボッチャを一緒に

ろいろと分かってきます。この子はこんなことが好き、この子はこの場所が好き、この子はお調子者、この子は話をするのが好きなど、日々一緒に過ごすことでわかってきます。だから共生は重要だと感じます。1回の交流ではなく、1年間、6年間と長ければ長いほど理解は深まります。この考えは大切にしていきたいと思います。4年生のみなさん、今回の交流は貴重な体験です。今後の生活に生かしてください。菊池支援学校のみなさん、本当にありがとうございました。